



- 「にじのきらめき」の特性
 (「西南136号(後の「なつほのか」)×「北陸223号」
 農業・食品産業技術総合研究機構上越研究拠点育成)
1. 「コシヒカリ」に比べて15% (標肥) ~30% (多肥) 多収である。
 2. 「コシヒカリ」より高温耐性に優れ、やや大粒で玄米品質が優れる。
 3. 米飯の食味は「コシヒカリ」と同等。
 4. 短稈で倒伏に強く、イネ縞葉枯病に抵抗性である。
 5. 「コシヒカリ」とほぼ同じ熟期で、北陸および関東以西の幅広い地域で栽培が可能。



表1. 生育・収量特性

品種名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	玄米 収量 (kg/10a)	比較 比率 (%)	玄米 千粒重 (g)	玄米 品質 (1-8)
〈標肥栽培〉										
にじのきらめき	8.05	9.18	71	18.8	418	0.0	718	115	24.8	4.0
コシヒカリ	8.05	9.14	86	18.0	388	4.2	627	100	22.4	5.8
〈多肥栽培〉										
にじのきらめき	8.08	9.19	74	20.4	474	0.0	758	128	23.8	4.4
コシヒカリ	8.04	9.15	101	18.6	448	4.8	588	100	21.7	5.8

注) 農研機構中央農研北陸研究拠点(上越市)における成績。